

第3学年1組 国語科学習指導案

平成27年11月13日（金）第3校時

3年1組教室（在籍児童数30名）

指導者 戸田市立芦原小学校教諭 佐藤 由香里

1 単元名・教材名

せつめいのくふうについて話し合おう 「すがたをかえる大豆」

れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」（光村図書3年下）

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、これまでに教材文「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」を通して、段落や「初め」「中」「終わり」の文章の組み立てについて学習をしてきた。「初め」には、「問い」の文があり、「中」に問いの「答え」が書いてあることや、「終わり」には、文章全体のまとめが書いてあることを学んできた。ワークシートを使いながら、各段落の中心となる語を見つけ、まとめていき、文章の組み立てを意識して文章を読んできた。さらに、「このように」という言葉に注目して、文章全体をまとめている段落であることを意識する児童が増えてきた。

「書くこと」の単元である「気になる記号」では、普段自分達が出している文章と比較して、教科書に書いてある報告文を繰り返し読み、上手な報告文の書き方の工夫を見つけて、実際に書いてまとめていく学習をしてきた。また、国語科の授業を中心に、少人数で話し合う活動を行い、自分の考えを自信をもって相手に伝えることが少しずつできるようになったり、友達の考えを比べながら聞くことができるようになったりしてきた。対話などのスモールステップを用いて、全体での交流の場も積極的な児童が増えるようにしていきたい。

本単元では、「食べ物のひみつブック」を書くことを目的として、「すがたをかえる大豆」の教材文を、書き方の工夫を見つけながら読むという複合単元となっている。各事例の段落の並び方や、事例ごとに写真と文章が対応していることなど、「すがたをかえる大豆」には、さまざまな点で、読者に内容を分かりやすく伝えるための説明の工夫が見られる。大豆をおいしく食べるための工夫を5つで説明しているが、「いちばん分かりやすいのは」「さらに」などの書き出しの言葉も、細かく読み取ることで、事例が提示される順番にも工夫があることを見つけさせたい。中心となる言葉や文に着目しながら段落の中身を読み、全体の組み立てを捉えたり、文章の説明の仕方の工夫を見つけたりして、読みを深めていきたい。

その深まった読みをもって、単元を貫く言語活動として設定した「食べ物のひみつブック」作りに生かしていきたい。授業の最後に、自分に関心をもった「食べ物のひみつブック」を作る時間を毎時間設定した。「読むこと」と「書くこと」を複合させ、目的意識をもった読みを大切にして授業を進めていきたい。

3 単元の目標

- (1) 食べ物について書かれている文章に関心をもち、課題に合わせて調べたり書いたりしようとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。
(読むこと)
- (3) 目的に適した事例を複数挙げながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。
(書くこと)
- (4) 説明するために必要な語句を、辞書を引いて調べている。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準や学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	・食べ物について書かれている文章に関心をもって読み、それを生かして課題に合わせて調べたり書いたりしようとしている。	・目的にそって必要になる事項と観点を理解し、「中」の部分で内容のまとまりごとに段落を分けて、文章を構成している。	・構成や中心になる文、具体例を確かめながら、説明されていることを整理して読んでいる。	・文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。
学習活動に即した評価規準	① 様々な食品になる食べ物について関心をもち、文章を読もうとしている。 ② 大豆がさまざまな食品になることを知り、説明の工夫を読もうとしている。 ③ 「すがたをかえる大豆」の文章の書き方を生かして、「食べ物のひみつブック」を作ろうとしている。 ④ 食べ物について関心をもち、調べて分かったことを説明しようとしている。 ⑤ 分かりやすく説明するための工夫について、学習したことをまとめ、これからの生活に生かそうとしている。	① 自分の調べたいことを挙げている。 ② 必要になる事項と観点を理解し、調べている。 ③ 「中」で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。 ④ 接続語を適切に使ったり、絵の入れ方を考えたりして、分かりやすい文章になるよう工夫している。 ⑤ 互いの書き方を比べ、上手に説明しているところ気づいている。	① 文章を通読して、おおまかな内容を捉えている。 ② 「初め」「中」「終わり」の全体構成を捉えている。 ③ 段落の中心となる文を捉えている。 ④ 文をつなぐ言葉や段落相互の関係に気付いて読んでいる。 ⑤ 他の本を読んで説明の工夫を見つけている。	① 大豆を加工する時の言葉について、国語辞典を使って調べている。

5 指導と評価の計画（全14時間）

時間		主な学習活動	学 習 内 容		評価規準 【評価方法】
			全 体（35分）	マイブックタイム （10分）	
一次：学習の見通し	1	○学習の見通しをもち、さまざまな食品に姿を変える食べ物への関心を高める。	・学習のねらい ・学習のゴール ＝「3年1組食べ物のひみつブック」を作って交流しよう！ ・北村ひろきさんの文章 ・さまざまな食品に姿を変える食べ物	★さまざまな食品に姿を変える食べ物の本紹介	ア① 【観察・発言】
	2	○学習計画を立て、マイブックを決定する。	・学習計画	★マイブックの決定	
二次：文章を読み、国分さんの説明の仕方を捉える。	3	○「すがたを変える大豆」を読んで、大豆が姿を変えている食品をまとめる。	・範読 ・大豆が姿を変えている食品 *豆まきの豆 *煮豆 *きなこ *豆腐 *納豆 *味噌 *醤油 *枝豆 *もやし	★自分が選んだ食べ物が何に姿を変えるかを読む。	ア②【観察】 エ①【付箋の考察】
	④ 本時	○その食品になるためにどのようなおいしく食べるための工夫があるかをまとめ、段落相互の関係をとらえる。	・おいしく食べる工夫 *そのままいたり、にたりする *粉にしてひく *大切な栄養を取り出す *小さな生き物の力を借りる *取り入れる時期や育て方を工夫する ・難解句調べ ・段落相互の関係	★自分が選んだ食べ物のおいしく食べる工夫を読む。	ア②【観察】 エ③ 【発言・ワークシート】 オ① 【観察・ワークシート】
	5	○「なか」をわかりやすくするための言葉に注目して読む。	・一番分かりやすいのは ・次に ・さらに ・これらのほかに →加工過程の複雑度 ・段落相互の関係 ・北村ひろきさんの文章	★自分が選んだ食べ物のおいしく食べる工夫を読む。	エ④⑤ 【発言・ワークシート】
	6	○「はじめ」「おわり」の文章を読み、文章全体の組み立てをとらえる。	・はじめ：問題提起 →「問い」はない ・おわり：まとめ →「このように」 →大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々の知恵に驚かされる。 ・北村ひろきさんの文章	★自分が選んだ食べ物のおいしく食べる工夫を読む。	エ② 【発言・ワークシート】

【単元を貫く言語活動】

「三年一組食べ物のひみつブック」を作って交流しよう！

三 次 ： 国分さん（北村さん）の説明の仕方を生かして、自分で「食べ物のひみつブック」を書く	7	○自分が選んだ食べ物がどのような食品に変わるのか読み、表にまとめる。	・マイブック読み ・紹介する食品の精選（3つ程度）	ア③【観察】 ウ① 【ワークシート】
	8	○自分が選んだ食べ物が、どのような工夫ですがたを変えらるかを読み、表にまとめる。	・マイブック読み ・おいしく食べるための工夫 ・北村ひろきさんの文章	ウ② 【ワークシート】
	9	○「はじめ」と「おわり」の文を考える。	・北村ひろきさんの文章 ・「はじめ」：選んだ食べ物の紹介 ・「おわり」：まとめの文＋自分の感想	ウ② 【ワークシート】
	10	○表にまとめたものを、文章に書き表す。（下書き）	・北村ひろきさんの文章 ・敬体、常体 ・文章構成 ・説明の順番、書き出しの言葉 ・おいしくする工夫のわかりやすさ	ウ③ 【ワークシート】
	11	○下書きを読み合い、わかりやすさについて助言をし合う。	・助言の視点 * 敬体、常体 * 文章構成 * 説明の順番、書き出しの言葉 * おいしくする工夫のわかりやすさ	イ⑤ 【交流の観察】
	12	○文書を清書し、その文に合った絵を書き、本を完成させる。	・前時の学習で得た改善点 ・文と絵の整合性 ・発表の練習	イ④ 【ワークシート】
	13	○「3年1組食べ物のひみつブック」交流会をする。	・交流会の仕方 * 3人1組 * 一人が発表し、聞いている二人が感想を伝える。 ・感想の視点 * 一番よくわかった／心に残った食品への変化	ア④ 【交流の観察】
	14	○学習の振り返りをする。	・できるようになったと実感したこと ・楽しかったこと ・自分でさらに生かしていきたいと考えたこと	ア⑤ 【振り返りの考察】

【単元を貫く言語活動】

「3年1組食べ物のひみつブック」を作って交流しよう！



6 本時の学習指導（本時 4 / 14 時）

（1）目標

- ・大豆を加工する時の工夫について着目しながら、内容を整理して読み、各段落で述べられる具体例を捉えることができる。
- ・文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べることができる。

（2）評価規準

- ・段落の中心となる文に着目しながら、説明の工夫や段落相互の関係を讀んでいる。
- ・大豆を加工する時の言葉について、国語辞典を使って調べている。

（3）展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指導（○）と評価（◆）の創意工夫	時間
1 前時の学習の確認をする。	・すがたをかえた食品の確認 豆まきの豆・に豆・きなこ とうふ・なっとう・みそ・ しょうゆ・えだ豆・もやし	○前時に書いた付箋を使って、確認させる。	3
2 文章の構成について考える。	・「初め」「中」「終わり」の確認	○既習内容を想起させ、説明文のおおまかな文章構成を把握させる。	1
3 本時の学習課題を知る。		○学習課題を声に出して読むことで、ねらいを明確に意識させる。	1
国分さんは、9つの食品を「中」でどのように説明しているか、知ろう。			
4 「中」を音読し、大まかな内容を確認する。	・中心となる文章を意識した音読の仕方 ・「中」が5つに分かれること ・分ける観点…おいしく食べるくふう	○語や文のまとまり、中心となる文章を考えながら音読させる。 ○付箋を使いながら、9つの食品が、おいしく食べる工夫によって5つの段落で書かれていることに気付かせる。	8
5 すがたをかえるためのくふうを見つけ、ワークシートに書く。	・ワークシートの書き方 ・中心となる文の見つけ方	評価場面 <学習活動に即した評価規準> エの③ <評価方法> ・ワークシートの記述による分析 <手立て> ・工夫が探せない児童には、各段落から「くふう」という言葉を探すよう助言する。 ・めあてが達成されている児童には、見つけた「くふう」が、各段落のどこに書いてあるかを考えさせる。	5

6 グループで、交流する。	・ 交流の仕方	◆大豆がさまざまな食品になることを知り、説明の工夫を読もうとしている。ア②【観察】	5
7 全体で確認する。	・ おいしく食べるためのくふうの確認 ・ 大豆を加工する時の言葉の意味・使い方	○自分の考えと相手の考えを比べながら聞くようにさせる。 ○大豆に手を加える時の言葉を整理しながら、その言葉の意味を捉えさせる。 ◆大豆を加工する時の言葉について、国語辞典を使って調べている。オ①【観察・ワークシート】	7
8 マイブックを読み、自分が選んだ食べ物のすがたをかえるためのくふうを見つける。	・ 中心となる文章を意識した読み	○中心となる文章を見つけたら、付箋やワークシートに記入させる。	10
9 本時のまとめをし、学習の振り返りをする。	・ 振り返りの視点 ＊分かったこと ＊気付いたこと	○具体的な視点を示し、振り返らせる。	5

(4) 板書計画

終わり	中					はじめ	構成
	⑦	⑥	⑤	④	③		段落
	食べ方 とり入れる時期や育て方をくふうした	ちがう食品にするくふう	目に見えない小さな生物の力をかりて、 ちがう食品にするくふう	大豆にふくまれる大切ないえいようだけ を取り出して、ちがう食品にするくふう	こなにひいて食べるくふう	大豆をその形のままだけにたりして、 やわらかく、おいしくするくふう	おいしくする工夫 すがたを変えた食品
	もやし	なつとう みそ しょうゆ	とうふ	きなこ	豆まきの豆 に豆		

国分さんは、九つの食品を「中」でどのように説明しているか、知ろう。

三年一組食べ物のひみつブックを作ろう

「すがたをかえる大豆」ワークシート

名前（

）

			構成
			段落
			書き出し
			おいしくする工夫
			すがたを変えた食品

「すがたをかえる」ワークシート

名前（

）

終わり	中				はじめ	構成
						段落
						書き出し
						おいしくする工夫
						すがたを変えた食品